

教育委員会 平成28年度6月定例会会議録

- 日時 平成28年6月1日(水)
9時30分開会、10時13分閉会
- 場所 鎌倉市役所 講堂
- 出席委員 下平委員長、齋藤委員、山田委員、安良岡教育長
- 傍聴者 3人
- 本日審議を行った案件
- 日程1 報告事項
- (1) 委員長報告
 - (2) 教育長報告
 - (3) 部長報告
 - (4) 課長等報告
- ア 行事予定(平成28年6月1日～平成28年7月31日)
- 日程2 議案第12号 鎌倉市図書館協議会委員の任命について
- 日程3 議案第13号 鎌倉市教育委員会委員長の選任について
- 日程4 議案第14号 鎌倉市教育委員会委員長職務代理者の指定について

下平委員長

定足数に達したので、委員会は成立した。これより6月の定例会を開会する。
朝比奈委員から本日の会議を欠席する旨の届出があったので報告する。
本日の会議録署名委員を齋藤委員に願います。
本日の議事日程は、お手元に配付したとおりである。
では、日程に従い議事を進める。

1 報告事項

(1) 委員長報告

下平委員長

今ちょうど土日になると運動会の元気な声が街の中に響いている。今朝も、大船駅と鎌倉駅で修学旅行に出る小学生たちと先生方に「気をつけて行ってきてね」と声をかけてきた。本当に楽しい思い出をつくって、元気に行ってほしいとつくづく思っているところである。

私ども3名で5月27日に関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会の総会と研修会に行ってきた。八王子のオリンパスホールに関東甲信越静岡の教育委員の皆さんが1,200名以上集

い、盛大に行われた。総会では27年度までの事業報告、会計報告が行われた。鎌倉市は神奈川県市町村教育委員会連合会の会長市を任命されていたこともあり、私は理事を務めた。無事に27年度でその職を終えて、そして引き継ぎを終えほっとしたところである。

研修会の中では、八王子車人形の公演を見せていただいた。これは東京都無形文化財に指定されているすばらしい芸能である。小さな四角い箱で三輪のついた腰かけに座った人間が、ほぼ等身大の人形を一体化して操るというすばらしい芸で、匠の技を目の当たりにして、感激しながら拝見した。その後文科省の副大臣の義家様からいろいろなお話を伺ったが、その中で印象に残ったのは、サミットに先駆けて岡山でG7の教育大臣会合というものが開かれたという話である。日本の小中学校を各国の教育大臣の方々が見学してくださり、掃除風景と、部活動、給食に非常に感銘を受けてくださったようである。日本の小中学校は、知育のみならず、体育はもちろん食育とか徳育までこの中で行っているのかという声があったということである。

その後ソウルオリンピックの金メダリストでいらしたスポーツ庁長官の鈴木大地様からお話があり、スポーツを通じて日本の国を元気にしよう、健康にしようという熱い思いが非常に印象に残った。

この鈴木大地様の講演の後、質問の時間があつたが、山田委員から壇上で質問をしていただいたので、そのことも山田委員からお願いしたい。

山田委員

スポーツだけではなく国民の健康と教育の面で、どれだけスポーツをすることがよいか、アスリートの視点を加えてお話しいただき、改めて感銘を受けた。私は、アスリートとセカンドキャリアと教育の関連についてお伺いした。

トップアスリートというのは日の丸を背負って、国の外交官や広報官の役割も果たしてくれていると思うが、例えばビジネスの世界で、世界のトップ100というと大成功している方ばかりだ。しかし、アスリートで世界ランキング100位といえば話題にも上らないぐらい、本当にトップの3人とか5人にしか焦点が当たらないとても厳しい世界だと思う。そうした中で戦い抜いてきた忍耐力とか精神力、技術も含めて、そのようなものをもう少し教育に生かすことができないかと。また、それを教育だけでなく社会的に活躍の場をつくることで、アスリート、スポーツマンを志す若者たちも増えるのではないかと、安心材料になるのではないかとということをお伺いしたところ、これからしっかり考えていかなければという認識は、ご自身がアスリートでいらしたこともあって非常に痛感しているようであつたが、とりたててこれといったものはないという感じだつた。先ほど委員長のお話にもあつた部活動に関して、教職員の拘束時間が長くなって非常に大変だという統計もあるので、そこに外部の専門家をあてて、招聘して、お任せするというのを今も行っているし、これからもっと充実させていきたい、そこにアスリートの活躍の場があるのではないかとおっしゃっていた。

いずれにしても、そこを国としてどうするか。オリンピックや世界大会があるたびにメダルを取れだとか、オリンピックに行けというプレッシャーをアスリートに与えなくても、実際にそれを取り巻く環境が整っていないことが国としての問題だと思うので、

そのあたりは動いてくださるとおっしゃっていた。

下平委員長

スポーツ庁でも、オリンピックズ協会でも、オリンピックに出場した選手たちを各学校に派遣する取り組みをしていらっしゃるようだ。そのとき齋藤委員にも伺ったが、鎌倉市の小中学校でもそのような機会を設けていらっしゃるということだ。そのようなチャンスがあれば、鈴木大地選手も自分がオリンピック選手からサインをもらったことで、本格的にオリンピックを目指す気持ちになれたとおっしゃっていたので、子どもたちにこういう念を抱かせる機会として、これからもチャンスがあれば活用するとよいのではないかと感じた。

齋藤委員

御成中学校の体育祭に参加してきた。先生たちがいきいきと活躍し、子どもたちが責任を持って動いて、自分たちで盛り上げていくのだという意気込みを感じる素晴らしい体育祭であったと思う。縁あって私も稲村ヶ崎小学校に勤務していたとき、学校公開か何かのときに、上の子に連れられてきた幼い子がもう中学生になっている。走っている姿を見て「あ、あの子だ」と分かり、もう一回若返らせてもらったような思いもあった。

中でも、よくやってくださっていると思ったのが、退職をされた校長先生が本当に一生懸命で、大活躍をしてくださっている。あのような姿勢を見せてくださるといのは、子どもたちも元気になり、頼りにし、自分たちの力を十分に発揮できるという形になっていると思う。

全学年が全員で走る全員リレーというもので、協力のすばらしさ、先ほどもお話にあったように、この中の誰がオリンピック選手になるとかということではなく、自分に備わったよい力を別な形で発揮できる、そのような子どもたち一人ひとりがいきいきと育っていくということに非常に喜びを感じた。ここにいらっしゃる方々も運動会にご一緒に参加したが、皆さんよい思いを持たれたのではないかと思います。

下平委員長

文科省の発表の中にもあったように、運動能力の調査では、女の子は伸びているが、男の子が低下しているという話も出た。体は生涯にわたって健康に保ってほしいので、これからも子どもたちの体づくりは重要なポイントだと感じた。

(2) 教育長報告

安良岡教育長

先月の教育委員会と同じ日、5月18日に稲村ヶ崎小学校の子どもたちが、熊本地震で何か学校でできないかということで、児童会が中心になって学校の中で募金活動を行い6万円ぐらい集まった。その募金を市長に18日に手渡したので、ご報告したいと思う。

長谷小路周辺遺跡、由比ガ浜こどもセンターを建設するところ、遺跡の見学に5月20日に御成小学校、第一小学校、稲村ヶ崎小学校の6年生が見学させていただいた。教科

書上の勉強だけではなく実際に中世、あるいは古代にこのような生活をしてきた跡が間近で見られるということで、興味を持つ子どもたちも増えたのかなと思う。

また、委員長のお話にあったように、小学校が今日から4日まで3日間、グループに分けて修学旅行先の日光に出発した。中学校も今月、修学旅行に学校ごとに行くこととなっている。

(3) 部長報告

教育部長

「みんなで遊ぶ・地域で育つキッズ・プラザ」という資料を3つほどご用意させていただいた。現在、鎌倉市放課後子ども総合プラン検討委員会という庁内の検討委員会があり、放課後子ども総合プランをどうやって進めていくかという検討を市長部局のこどもみらい部と教育部と学校の先生方が委員になって、今検討しているところである。

検討の一環として、先月の5月23日に中野区が実施しているキッズ・プラザを視察してきた。最初のパンフレットがキッズ・プラザの内容で、私たちが行ったときには3時ごろで、ちょうどおやつの時間に当たり、子どもたちが過ごしている様子を見せていただいた。体育館と併設された施設で、学校の再編が行われたそうで、その施設の拡充のときにキッズ・プラザと学童を併設した施設ができ、平成23年に供用開始されているということだ。

中野区も基本的には鎌倉と同じように、鎌倉の場合は子ども会館・子どもの家に併設という形である。児童館的な機能を持った施策を進めているが、中野区は児童館を学校の中に入れて学童と併設するという取り組みを進めているそうである。現在25校ある学校の中で8校がキッズ・プラザと学童の併設を行っているそうである。将来この25校が20に統合され、全校実施に向けて今取り組みをしているというお話を承った。

このパンフレットの一番下に、中野区地域支えあい推進室と書いてあるが、どのような職場なのか質問したところ、地域子ども施設調整担当という係長クラスの方から、いわゆる私たちの市役所ですとこどもみらい部でもない、教育部でもない、このようなセクションでやっているということで、そのような取り組みがあるのだなと痛感した。

1枚めくっていただくと、どんな活動をしているかという一日の流れと状況が書いてある。子どもたちは登録カードをみんな持ち、入口でパソコンでバーコードを読み取って、チェックをしているようだ。館内にいるときは学年ごとに色の違ったリストバンドをはめて、帰るときには、先ほど言った定期券のようなイメージのカードをもう一度バーコードで読み込んで退館し、リストバンドを返すという形で管理をされているそうである。

今日写真が間に合わなかったが、館のイメージは大きなプレイルーム的なものがある。そこがキッズ・プラザの大きな子どもの居場所になる。もう一つは、いわゆる図書室的なイメージで、そこで宿題をやったり本を読んだりしている。もう一つは学童の専用のスペースで、行ったときは子どもたちがおやつを食べている時間帯であったが、おやつ時間もこの時間と決まっているわけではなくて、3時から1時間ぐらいの間に自由にとりなさいということで、かなりフレキシブルに運営しているイメージを受けた。

右側のページに、キッズ・プラザと学童の事業内容についてという比較表があり、キッズ・プラザも授業終了時から夕方の18時までになっている。学童についても時間は同じだが1時間の延長可能になっている。

キッズ・プラザは利用料が無料で、学童については保育料、おやつ代がかかる。延長する場合は延長利用料、たしか5千数百円だったと思うが、このような金額で学童は運営をしている。全部で7つのキッズ・プラザがあり、全て同じ事業者ではなく、民間の力を借りて運営しているそうである。

以上がキッズ・プラザの概要で、資料2はキッズ・プラザで行われている5月のいろいろな行事である。体育館に併設されているキッズ・プラザ以外に、体育館を利用する場合、校庭を利用する場合、学校側と調整して1カ月のプログラムを組み、実施をしているそうである。資料3は、どんな方が利用されているか聞いたときにいただいた資料である。

平成27年度キッズ・プラザ桃花の運営報告では、桃花小学校の児童は、1年生の97名から6年生の82名まで510名いるそうである。キッズ・プラザの利用登録をされている方が500人、登録率が98%。その他、私立とか中野区の近郊の学校に通っていらっしゃる方もオーケーだそうで、その方々が46名、全体で546名が登録しているとのことである。

27年度の利用状況では1～3年生の利用が圧倒的に多く、毎月の数字と高学年の数字を比べていただくと10倍近く違うということで、主に1年生から3年生の利用を中心に運営されていることが分かった。

裏面は学童の資料で、3月31日現在の桃花学童クラブ登録数は70名、ここも1年生42名、2年生が26名、3年生が3名と、低学年中心である。4年生以降も聞いたところ、既に定員70名に対して待機児童が35名いるため、低学年中心の運営にならざるを得ないことが課題だとおっしゃっていた。

私たちが視察に行ったときにも、検討委員会のメンバーに小学校の校長先生3名が入り、校長先生同士で普段の悩みや、運営にあたってのお悩みなどの意見交換をして、地域の方や学校の協力、毎日の情報のやりとりなどを確認し合うのが大変だなという印象だった。

運営の方法や内容も異なる学校や施設を使った総合子どもプランをなるべく早く私たちも実践していきたいという思いがある。中野区だけでなく先進都市に学び、鎌倉に合うスタイルを模索していきたい。

質問・意見

下平委員長

総合教育会議でも重点施策の柱になっているので、これからも報告を伺いたい。費用を払っているということは、学童に入っている子は部屋自体が違うのか。

教育部長

全く一緒である。学童専用スペースはあるが、もちろん行き来できる。オープンなスペースで行っていて、利用料金には保育料とおやつ代が含まれている。キッズ・プラザ

は無料なので、お金は一切かからない。相当中野区はお金を出しているのだと思った。

下平委員長

4年生ぐらいから塾に入れるご家庭が多いので、4年生からは激減すると思うが。

山田委員

人数も多いことからトラブルや怪我があったとき、一人の担当の方がいるだけで対処できているのか。インフルエンザなどの集団の感染症が流行ったときにはクローズされてしまうのか。

教育部長

スタッフは常勤、時間スタッフ、民間の方々である。かなり若い指導員もいて、インフルエンザなどで学校が休校になる場合はキッズ・プラザも当然閉める。ただ、学童保育は使用の遠慮は求めるが、基本的にはオープンしているそうである。

下平委員長

サポーターを募集すると書いてあるから、一般の方々から募集し、運営、支援に当たってくださっている形だろうか。

引き続き、見学にいらしていただいて、ご報告をお願いしたい。

(4) 課長等報告

ア 行事予定（平成28年6月1日～平成28年7月31日）

下平委員長

それでは、報告事項のア「行事予定」について、特に伝えたい行事などあればお願いする。

教育部次長兼教育総務課担当課長

本日から7月31日までの行事予定については、議案集の1ページから7ページに記載している。その中で4ページのかまくら子ども議会についてご説明をさせていただきたい。

子どもたちが市議会の模擬体験を通じて、鎌倉市が抱えるさまざまな課題について考え、議会制度や地方自治の仕組みについて学習するという目的で開催している。

昨年までは小学校と中学校を分け、隔年で1年ごとに開催していた。今年からは、鎌倉市内にある国立、市立、私立の小学校、中学校を二つのブロックに分け、小中合同でブロックごとに隔年で実施をする予定である。

質問・意見

下平委員長

今年から様子が変わるようであるので、そのあたりもご報告をお願いしたいし、私どもも伺いたいと思う。

山田委員

4 ページの一番下の危機管理対応能力の研修会は教職員の方々を対象としたものか。

教育センター所長

7月25日の危機管理対応能力育成研修会については、各小学校、中学校1名、幼稚園、こども園、保育園の希望者となっている。

(報告事項アは了承された)

2 議案第12号 鎌倉市図書館協議会委員の任命について

下平委員長

次に、日程の2、議案第12号「鎌倉市図書館協議会委員の任命について」を議題とする。

中央図書館長

日程第2、議案第12号「鎌倉市図書館協議会委員の任命について」、議案集は8ページから9ページをご参照いただきたい。鎌倉市図書館協議会は、図書館法及び鎌倉市図書館協議会設置条例に基づき設置され、委員の定数は5名、任期は2年となっている。委員は、鎌倉市図書館協議会設置条例第2条の規定により、学校教育及び社会教育の関係者、学識経験を有する者については、関係団体からの推薦により各1名を選出し、家庭教育の向上に資する活動を行う者については、市内で活動する読み聞かせ等のボランティアから1名、ほか1名については市民公募により選出される。

このたび、市民として選出される委員について、小林美香委員から一身上の都合により委員辞退の意向が示されたため、平成26年度鎌倉市図書館協議会一般公募の結果、次点候補となっていた和田安弘を後任委員として選任し、任命を行おうとするものである。

なお、委員の任期については、鎌倉市図書館協議会設置条例第3条により、当該議案の議決後、協議会が開催される平成28年7月28日から前任者の残任期間である平成28年12月14日までとなる。

(採決の結果、議案第12号は原案どおり可決された)

下平委員長

図書館の行事予定などについてご発言があれば。

中央図書館長

行事予定の6ページ、鎌倉アカデミアの70周年記念祭を今度の土曜日に行うことは前の定例会でご説明したが、新聞等でも取り上げていただいて、嬉しいことに大きな反響があった。また、6月25日に、銀の鈴社という鎌倉市内の出版社の方が毎月、鎌倉学府という形で講演会をやっていて、今回は図書館と一緒にやらないかという話があったので、図書館も協力して一緒に講演会をさせていただくことになった。今回取り上げる六浦は、鎌倉幕府にとって非常に重要な交易港だったようなので、その話を聞かせていただければと思っている。

3 議案第13号 鎌倉市教育委員会委員長の選任について

下平委員長

次に日程の3、議案第13号「鎌倉市教育委員会委員長の選任について」を議題とする。議案の説明について願います。

教育部次長兼教育総務課担当課長

議案集は10ページ、鎌倉市教育委員会委員長の選任について、現職の下平委員長が、本年6月22日をもって委員長の任期が満了となる。ついでには後任の委員長の選任をお願いするものである。

なお、平成27年4月1日に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が施行され、いわゆる「新教育長」が設置されることとなったが、本市においては法律の附則第2条、「平成27年4月1日に在職する教育長は、その教育委員としての任期中に限りなお従前の例による。」という経過措置を適用しているため、改正前の規定がなお効力を有することから、現教育長の在職している間は、教育委員長の選任が必要となる。

改正前の法律第12条では、委員長の任期は1年、また委員長は再選することができる。新委員長の任期は、平成28年6月23日から29年6月22日までの1年間となる。

下平委員長

それでは、これより委員長の選任を行う。

まず、選任の方法についてお諮りする。これまで委員長の選任は、指名推薦で行っていたが、今回も指名推薦とすることによろしいか。

(異議なし)

下平委員長

それでは、指名推薦で進めるが、どなたか推薦をお願いしたい。

山田委員

今年から総合教育会議等も始まり、ちょうど下平委員長のもとに軌道に乗っていると

ころなので、私も2期ほど務めさせていただいた記憶があるので、下平委員長にぜひもう1期お願いできればと思う。

齋藤委員

私も、山田委員がおっしゃられたように、任期はあと少しなので、下平委員長にもう1年ぜひお願いできたらと思う。

下平委員長

ただいま、私を推薦するご意見があった。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第6項で「教育委員会の教育長及び委員は、自己、配偶者若しくは三親等以内の親族の一身上に関する事件又は自己若しくはこれらの者の従事する業務に直接利害関係のある事件については、その議事に参与することができない。」とされているので、この件に関する以後の進行を委員長職務代理者をお願いしたいと思うが、よろしいか。

それでは、齋藤委員長職務代理者をお願いをしたいと思う。

齋藤委員長職務代理者

それでは、議案第13号について進行する。なお、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第6項の但し書きで、「教育委員会の同意があるときは、会議に出席し、発言することができる」との規定があるので、下平委員長には引き続き会議に出席していただくことでよろしいか。

(異議なし)

齋藤委員長職務代理者

それでは、お諮りする。ただいま、推薦のお声があがった下平委員長に、引き続き委員長をお願いすることにご異議ないか。

(異議なし)

齋藤委員長職務代理者

異議なしと認め、下平委員長を引き続き、鎌倉市教育委員会委員長に選任することと決定した。それでは、ここで委員の皆様のご同意をいただき、下平委員長に一言ご挨拶をお願いしたいと思うが、いかがであるか。

下平委員長

改めて気持ちを引き締めて臨みたいと思うので、引き続き皆さん、ご協力とご支援をよろしくお願ひしたい。

4 議案第14号 鎌倉市教育委員会委員長職務代理者の指定について

下平委員長

次に、日程の4、議案第14号「鎌倉市教育委員会委員長職務代理者の指定について」を議題とする。

教育部次長兼教育総務課担当課長

議案集は11ページ、委員長職務代理者は、委員長に事故あるとき、または委員長が欠けたとき、委員長にかわりその職務を行うもので、教育委員会があらかじめ指定をすることとされている。

現職の委員長職務代理者である齋藤委員は、平成27年6月23日に委員長職務代理者に指定され、本年6月22日をもって任期が満了となる。ついては、後任の委員長職務代理者の指定をお願いするものである。

委員長職務代理者の任期は特に定められていないが、慣例により、委員長の任期同様1年としており、今回の場合は、平成28年6月23日から平成29年6月22日までとなる。

下平委員長

それでは、これより職務代理者の指定を行う。

まず、指定の方法についてお諮りする。

これまで、職務代理者の指定については指名推薦で行ってきた。今回も指名推薦とすることによろしいか。

(異議なし)

下平委員長

それでは、指名推薦を行うこととするが、どなたか推薦をお願いしたい。

山田委員

同じく職務代理者として1年間ご尽力いただいた齋藤委員に、このままお願いしたいと思う。

下平委員長

私も、今までも職務代理者として齋藤委員にバックアップしていただいた。これからも引き続きお引き受けいただけたらと思う。

それでは、ただいまお名前が上がった齋藤委員は、先ほど申し上げたように議事に参与できないが、但し書きの規定により、齋藤委員にはこのまま会議に出席していただくということによろしいか。

(異議なし)

下平委員長

それでは、お諮りする。ただいま、推薦のお声があがった齋藤委員を委員長職務代理

者に指定することにご異議ないか。

(異議なし)

下平委員長

異議なしと認め、齋藤委員を引き続き、鎌倉市教育委員会委員長職務代理者に指定することと決定した。それでは、ここで委員の皆様のご同意をいただき、ひとことご挨拶をお願いしたいと思うが、いかがであるか。

齋藤委員

大変なお役だとは思いますが、委員長職務代理者として、皆様のご協力も仰ぎながら、誠実に務めさせていただきたいと思う。どうぞよろしく。

下平委員長

そのほか委員の皆様からなければ、以上で本日の日程は全て終了した。
では、これをもって6月定例会を閉会する。